

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるために、定期的・継続的に訓練を実施することが望まれる。	定期的な避難誘導訓練、夜間想定訓練を実施する。	今年度内に実施し(5/17予定)、その内容を記録し周知する。	1ヶ月
2	26	個人記録の種別欄を活用し、ケアプランとサービスの実施記録の連動性を明確にし、モニタリングの根拠となる仕組みづくりを期待する。ケアプラン見直し時の、家族の意向や主治医等関係者の意見は、会議録に明示することが望まれる。	記録の際の種別欄の活用の徹底、24時間シートの使用、ケアプラン見直し時の、家族の意向や主治医等関係者の意見を、会議録に明示する	記録の際の種別欄の活用の徹底し、次回ケアプラン見直し時の、家族の意向や主治医等関係者の意見を、会議録に明示する。24時間シートを使用し、実際にしている個々の支援を明確にしていく。	1ヶ月
3	4	ファイルの設置・掲示・郵送などにより、運営推進会議の議事録の公開が望まれる。また、開催案内の配布など、より多くの家族の参加が得られる取り組みが望まれる	運営推進会議の議事録の公開、開催案内の配布	運営推進会議の案内と議事録をご家族への請求書配布時に同封し、会議の内容の理解と参加を応募する。ファイルを玄関先に置き、観覧可能にする。	1ヶ月
4	6	「身体拘束廃止」「虐待防止」「権利擁護に関する制度」「プライバシー保護」等必要な項目については、事業所での年間研修計画を立て、内部研修を行う仕組み作りが望まれる。また、研修実施後の研修実施記録の作成が望まれる。	「身体拘束廃止」「虐待防止」「権利擁護に関する制度」「プライバシー保護」等を勉強する機会を作る。	サービス向上委員会の接遇や身体拘束に関する資料を全職員が観覧し印を入れてもらいます。また、会議時に委員長より説明の場を設ける。その後も支援センターにある権利擁護や虐待についての資料も同様に行っていく。	3ヶ月
5	1	事業所の理念の中に地域密着型サービスの意義・役割を明文化することが望ましい。また、法人・事業所の理念を日々のケアに反映し、実践状況を評価できるようなより具体的な取り組みを期待する。	事業所の理念を改めて考え、地域密着型サービスについての項目を追加する。	地域密着型サービスの意義、役割に関する項目、文言を職員で考えて追加する。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。